

審議会等の会議録

審議会等名	海老名市高齢者保健福祉計画策定委員会 第3回会議
開催日時 (意見提出期間)	令和5年8月31日(木) 午後2時から
場 所	海老名市役所 4階 401会議室
出席者 (意見提出者)	<p>1 委員 (11名) 内山会長、前田副会長 守屋委員、安田委員、豊永委員、窪倉委員、三宅委員、 辻 委員、杉山委員、勝田委員、江崎委員</p> <p>2 関係者 (2名) さつき町地域包括支援センター 大谷氏 海老名市基幹型地域包括支援センター 鈴木氏</p> <p>3 事務局 (13名) 保健福祉部長 伊藤 保健福祉部次長 小松 保健福祉部次長 篠原</p> <p>介護保険課長 田中 介護保険課課長補佐兼係長 栗本 介護保険課主幹兼係長 三浦 介護保険課主幹兼係長 横溝 介護保険課主任主事 鈴木</p> <p>保健福祉部参事兼地域包括ケア推進課長 金指 地域包括ケア推進課主幹兼係長 伏見 地域包括ケア推進課主任主事 大野 地域包括ケア推進課主任主事 山崎 地域包括ケア推進課主事 小川</p>
傍聴人数	0名

公開の可否	■公開 □一部非公開 □非公開
一部非公開・非公開の理由	
議題	(1) 日常生活圏域の検討について (2) えびな高齢者プラン21(第9期)骨子案について (3) スケジュールについて (4) その他
資料	1 次第 海老名市高齢者保健福祉計画策定委員会第3回会議次第 2 資料 【資料1-1号】日常生活圏域の検討について 【資料1-2号】近隣市等日常生活圏域数の調べ 【資料1-3号】海老名市地図(施設位置図) 【資料1-4号】海老名市地図(スーパーマーケット等位置図) 【資料1-5号】海老名市地図(2圏域案図) 【資料2号】えびな高齢者プラン21(第9期)の骨子案概要について 【資料3号】えびな高齢者プラン21策定スケジュール(案) 3 参考資料 えびな高齢者プラン21(第9期) 骨子案

○会議の内容(提出された意見及びそれに対する回答)

1 開 会	
【事務局】	《事務局の進行により開会》
2 あいさつ	
【保健福祉部長】	○ お暑い中、海老名市高齢者保健福祉計画策定委員会第3回会議にお集まり頂き、ありがとうございます。 ○ 本日の議事としては「日常生活圏域の検討」「骨子案について」とさせて頂いている。 ○ その中でも「日常生活圏域の検討について」は事務局でも何度かに渡り議論を重ね、本日、案を示させて頂くこととなりますので、ご意見を頂ければと思う。

- また、国の動きとしては8月8日に全国介護保険担当課長会議が動画配信として開催され、計画策定に関する基本方針の案が示された。
- 一方、市では一昨日より市議会定例会が始まり、前年度の決算が主な議題となっている。決算では介護保険特別会計の決算なども審議されるため、その状況をしっかり分析して、今後の計画策定にも取り組んでまいりたいと考えている。
- 計画策定に関して、事務局としても全力で取り組んでまいりますので、皆さまから、それぞれの立場からご意見を頂いて、積極的な意見交換を通じて計画策定に取り組んでまいりたいと思う。
- 引き続きよろしく申し上げます。

3 議事

(1) 日常生活圏域の検討について

【事務局】

《事務局から資料1号に沿って説明》

【関係者】

《関係者から補足説明》

- 地域包括支援センターの会議で日常生活圏域の話をして頂いた。
- 事務局から話があったが、海老名市ではどの地区の方も中央のエリアに買い物に行くというパターンが多いのではないかと、現在の圏域が一つというのも妥当な考え方という意見もあった。
- しかし、グループホームを見た場合に偏りがある。資料1-3号のとおり、特別養護老人ホームはそれほど偏りを、感じないが、グループホームは概ね中央から南部にかけて偏っている。
- 地域密着型サービスであるグループホームが、地域に密着していない、精神的に近いものではなくなっているのではないか。
- そこを踏まえると。事務局案のとおり南北で2圏域に分けることで、北部の方にも地域密着型のグループホームの誘致のようなこと、もう少し増やすというようなことを検討して頂くことが良いのではという意見が出た。

【会長】

- 「日常生活圏域」あまり聞きなれないと思います。
- 議論に入る前に確認しておきたいのですが、圏域を一つにするとか、いくつかに分けるということは、最終的には、事

	<p>務局・市で決める問題であって、この場ではその意見を出すということいいのですか？</p>
【事務局】	<p>○ ご意見を頂戴して、参考にさせて頂きたいと考えています。</p>
【会 長】	<p>○ もう一つ。圏域がいくつかに分かれたら、プランの中はどうなるのか。</p> <p>○ 圏域ごとに策定されるのか、考え方が盛り込まれるのか。</p>
【事務局】	<p>○ 圏域が増えると、例えば施設のサービスの一部や先ほど話のあったグループホーム、地域密着型の施設などは圏域ごとに考えようということになっているため、その部分については影響があるということになる。</p>
【会 長】	<p>○ そういった施設が少なければ少ないなりの計画を立てればよいといったことでしょうか。</p>
【事務局】	<p>○ 圏域ごとに、ここは少ないからどうして行こうか？少ないけれどどうして行こうか？と考えていくことになる。</p>
【会 長】	<p>○ 委員の方のお考えを聞きたい。</p> <p>○ 恐らく、資料を手元に貰ってから考える時間はそうはなかった。</p> <p>○ それから今の説明を受けて「すぐに意見を」と言われても困ると思うが、感じたことでも何でも結構です。ご意見を頂戴したい。</p>
【委 員】	<p>○ 事前に資料を頂いたので、自分自身いろいろ検討した。</p> <p>○ (圏域が) 幾つがいいのか？というのは難しい問題と思う。1がいいか、2がいいか、3がいいか、6がいいのか。</p> <p>○ どれでもいいと言えればいい。細かくし過ぎてもダメだし。非常に難しいと思う。</p> <p>○ 事務局は2圏域という案を提示されていたが、私は3つがいいと思う。北と南と中央と。</p> <p>○ 私は社家に住んでいるが、南地区はちょっと特殊。海老名市では陸の孤島と言われているぐらいの場所。南地区は。</p> <p>○ というのは、バス、電車そういったものがほとんどない。相模線が端の方にあるが広いところにはなにもない。</p> <p>○ そういった意味でニーズが違うと思う。3分割ぐらいがいいのではないかと思う。</p>
【委 員】	<p>○ 資料1-2の表を見た時に非常に驚いて、どうして海老名は1(圏域)なのだろうと。</p>

- 最初が1（圏域）というのはよくあることだと思うが、他所（自治体）が変えた時に何で海老名は変えてこなかったのだろう。
- すごく時間も経っているのに1（圏域）のままでどうしてきたのか。
- 提案として2（圏域）という提案が出ているが、日常生活圏域が2（圏域）という所はない。
- 私は、2はとてもじゃないけど。前委員がおっしゃったように最低でも3（圏域）だと思う。
- 地域包括支援センターが6か所に区域的に分かれているので、6（圏域）というところもあるのかなと思う。
- 座間が同じような人口だとか面積と考えたとすると、どうして座間は（圏域を）複数に分けたのだろうとか、そういった他市との比較をここまでしてらっしゃるので、是非参考に検討して頂ければと思う。

【委員】

- 先ほど、資料等拝見してお話を伺ったところ、資料1－5号のとおり2圏域に分けて、最終的には海老名市民真ん中に集まるという話だったと思う。
- 私は介護保険事業やらせて頂いている中で、確かに元気な高齢の方とか、支援する家族がいる方については真ん中の方に出ていくことも可能であるが、独居の方や支援がない方、経済的にサービスが使えない方はどうしても地元、地域で生活をせざるを得ない。
- さつき町では、団地の中でも高低差の問題等もあると思う。
- そういった様々な地域の特性を一番反映しているのが、今現状では地域包括支援センターで分かれている区画と実感している。
- 海老名市南部ごそっと大まかに纏められて分けられているのも私としては問題があると感じてはいるが、そこはこういった場で話すものではない。
- ただやはり、細やかな地域特性を見ていくという視点では、地域包括支援センターの6区画が妥当ではないかと個人的には考えている。

【委員】

- 地域6区画で分けられるのであれば、6で分けた方がいいのかなと思う。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 私も分からないが、多分、包括の地域の分け方と中学校区の地域の分け方が違うような気がする。 ○ そうなると、私は柏ヶ谷に住んでいるが上今泉の方と中学校区の関係で交流はあるが、望地の方はほとんど知らないし、交流もしたことがない。 ○ 中学校区でそもそもこれが分かれていないのも、高齢者の方の人数とかで割ったのかもしれないが、その点は前から疑問に思っていた。
<p>【委員】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校区と包括の違いが分かりませんが、6区で。 ○ 特に南部の本郷の方、門沢橋の方は中々、海老名総合病院、河原口や海老名駅まで来るのも大変ということを知っている。 ○ そうすると少なくとも2区ではなく、3区になるのではないかと。 ○ 6区できめ細かくということになるのですが、そこまで慣れていなければ、段階的という考え方もあると思う。 ○ まず3区ぐらいにしてから、次の回、次々回では、6区というのが、妥当なのではないかと思う。
<p>【会長】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ そうですね。 ○ これは、プラン策定することに見直したって良いわけですね。
<p>【委員】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 民生委員は6地区ということで、ご存じと思う。 ○ 私も最近、地区の会長とプライベートな場所でも色々な地区の特性について話し合う機会がある。 ○ 私は東部の民生委員ですが、南部の方の状況というのは全然違う。広い区域の中で同じ人数なのですが。 ○ 海老名市は、縦に長い地域の特性がある。 ○ 私は勤務先が綾瀬市の小学校であった。綾瀬についてはかなり分かっているが、海老名については本当に知らないなど、会長になってから、昨年からは一生懸命、海老名のことを勉強している。 ○ 南部には苺を買いに行く時ぐらいしか行かないなど思った。 ○ 日常生活圏域と考えると、3つぐらいに分けると色々な面でメリットも出てくるのではないかと思う。 ○ ここに来る前は1圏域でいいと、他がいっぱい分けていても海老名が1でいいのであればいいという気持ちで来たが、

	説明を詳しく聞いて、3区画ぐらいがいいのかなと思っている。
【委員】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の特性がすごく違うということが、地域包括支援センターの方々の話で、以前にも聞いたことがある。 ○ それぞれの地区の人達のニーズが、かわっている。 ○ 日常の生活圏の中でのニーズを押し量るのであれば、やはり細かく、特性に応じた調査ができるような形を取った方がいい気がする。 ○ なるべく細かくという風に考えている。
【委員】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 私は今、上今泉5丁目なのですが、いわゆる新住民と言われている。 ○ 申し訳ないが、南と言われている方の方は全然知らない。 ○ 中学校区で分けたらいいのかな。そうすれば学校や子どもを通じての繋がりも出てくるかなと思う。
【委員】	<ul style="list-style-type: none"> ○ この会議に出る前までは、日常生活圏はすごく元気な人が動くというイメージがあったので、2分割がいいのかなと思って来た。 ○ ただ今、お話を聞いて、介護が必要な動けない方々とか、そういう地域での生活の仕方を見た時には、ちょっと違うのかなと改めて感じた。 ○ ただ、地域包括で分けたとしても、私は下今泉ですが、多分、上今泉と下今泉で、すごく雰囲気とかが違う。 ○ 細かく各地域のニーズを取るということでは、もう少し細かい区域なのかなというのも感じた。
【委員】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 私も、資料を読ませて頂いた時には、2つということで、いいのではないかと考えていた。 ○ 今ここで考えると、他市に右に倣えする必要はないが、資料1-2号を見ると、大体が包括支援センターの数と同じように分けている感じが見受けられる。それを中学校区にするか包括支援センターで分けるかについては別にして、やはり何が必要か？何が足りていて、何が不足しているのか？と、細かいニーズを見た時には、やはり細かく分けた方が。少なくとも3、出来たら6という形がいいのではないかという風に感じた。
【会長】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 私も意見を言っていていいでしょうか。

- これらの策定に関して、一番大きい基になっているのは、国が言っている、地域包括ケアシステムを上手くやっていくにはどうしたらいいか？ということですよ。
- 地域包括ケアシステムを上手くやっていく中で、一番基本に作られているのが、包括支援センターということになっている訳ですね。
- それから、これは高齢者となっているので、単なる衣食住だけでは駄目で、その中には医療とか、介護とかそういったものがみんな入る。
- そうすると、先ほどおっしゃっていた、この高齢者プラン21は老人福祉法とか介護保険法とかが基になっているが、これにもう一つ、医療介護総合確保法という別の法律があり、これは医療と介護を結び付けてどうやったらいいか？という内容ものですが、どうしても医療がここから外せない。
- ですから、海老名市考えてみたらどうか。でっかい病院はどうか。やはり中央から北の方に集まってしまっている。南の方は医療が少ない。
- そういう風に日常の生活だけではなく、必要とされる医療とか、そういったものを配慮した上で考える必要がある。
- さっき最初に言ったように、無ければないでどうするんだという、そういうプランを立てないと。
- これから海老名を良くしていくにはどうしたらいいのかというの、プラン。
- 何でも揃っているという区画割りではなく、無くてもいいからそれなりに、地域特性を生かし、尚且つ奮起するような割り振りをしてもらえればいいと思う。
- これはプランを完成させるときには、ある程度、圏域を分けてここに盛り込まれるのですかね？

【事務局】

- 圏域が地域密着型サービスの定数の方に一番大きく影響が出ることから、なるべく早い段階で数と域については決めなければならぬと考えています。

【会長】

- ありがとうございます。
- 「こうしましたよ」ということではなく、時々委員の皆さんに情報提供して頂いて、「今こんな風に考えているよ」或いはそれに対して「どうお考えですか？」とそういったやり取りができるといいと思う。

	○ 会議は年間で多い数ではないので、その間に情報提供をお願いしたい。
【関係者】	○ 他市の同じぐらいの人口の所を見ていると、区画、単位が小さいので、どうしてそのように分けているのかと根拠を見たら、旧の行政区を基本として伊勢原はやっている。 茅ヶ崎はまちづくりの単位と同一ということで、市のまちづくりも含めた総合的な地区割を一緒にされているんだなと思った。 ○ もちろん高齢者に向けての支援、サービスの地区割でもあって、でも市の全体の例えば交通機関であるとか、そういうことも含めた、基本で見直すと、少し小さいほうがいいのかなと思った。 ○ 2区に分けるのは、元気な方の流れはこの2つだと思う。ただ、南とか東とかそこの方は、要支援や介護になると広範囲の移動ができなくなっているということでは、生活圏が非常に小さくなっているの、そういったところも考えていかないといけないと思った。
(2) えびな高齢者プラン21(第9期)骨子案について	
【事務局】	《事務局から資料2号に沿って説明》
【会長】	○ 骨子案について説明がありましたが、非常に広い範囲のことなので、ご質問、ご意見と言っても中々出しにくいと思いますが、説明をお聞きになって、お考え、ご意見ありますか？ ○ 基本的には国の指針とか、そういったものが出て、段々それに肉付けされていくって形でよろしいですね？ ○ ですから、まだ本当に骨子という感じですよ。
【委員】	○ 国の方から基本指針の案の段階ですが、出てきている。 ○ それに(計画に)載せなければならないもの、載せるよう努めるものがある。一応、新たに追加されたものを勘案し(骨子案)に追加させていただいている。 ○ ただ、基本指針は小難しく書いてあるため、読み取りながら、順次、素案にあげるにあたって修正をしながらということを考えている
【会長】	○ そうすると、皆さん方に骨子をこういうものだという概要をお聞き頂くことが主ということではないのでしょうか。 ○ そうは言っても何か。

【委員】

- 今回は資料を事前に配布頂きまして、ありがとうございます。
- 重箱の隅をつつくようであれば申し訳ないと思うのですが、計画と実績の令和3年、4年を見ていると、リハビリや訪問看護に関しては、かなりニーズが高い様で実績も場合によっては上回っていることも気が付く。
- 一方でサロンとか、システムの貸与、見守りの所とか、割と多分元気なお年寄り、推測ですが、元気なお年寄りが予防のために続けることに関しては、非常に実績数が計画値よりも少ない、乏しい。
- ここについては何か、分析をされているのか。例えば、広報が足りないとか、元気な方だから中々踏み込まないとかあるかもしれない。
- その辺を教えて貰えればというのが一点。
- もう一点は、自分が病院のソーシャルワーカーとして施設の入所や療養病院の転院の時に出てくる最近の傾向で、キーパーソンがいない問題。本当に結婚されていなくてご兄弟も亡くなってしまっていて、甥姪が遠くにいる、本当にいない場合に、成年後見人の活用ということで、ご家族がいなければ市長申し立てということになると思う。
- 計画で7件積んでいて1件、0件ということで、肌感覚ではもうちょっとそういう方はいてもいいと思う。
- 市職員に相談をするが、失礼があったら申し訳ないが、中々そこに行かない。そこに行かない理由ばかりおっしゃる。そうすると結局救急病院から出られない。救急病院から出られないと、そのベッドが詰まるから救急車の立ち往生が起きてしまう。
- 本当は家にいる時から備えて頂きたいと思うが、先ほど申したとおり予防対応の方は中々多分、気持ちがそうはならない。まだ自分は大丈夫といった感じ。僕の親も実際80ぐらいでお盆に帰るときに元気で自営業しているが、中々そういった話はし難い。元気だと。
- だから、それは分かるが、それにしてもニーズがあるようなケースが実績が積みあがらないというのがどういうことでしょうか？
- その2点についてお話頂ければと思う。

【事務局】

- ありがとうございます。
- サロンの関係の方からになりますが、元気な高齢者の方を対象としたサロンやお教室には、是非参加頂いて、要介護状態にならないようにというのが目標としてある。
- 計画立てた当時からコロナが出てきてしまって、軒並み定員を制限しなければならない事情もあった。
- ただ、今、流行りだしているが、前回と同じではなく、これからのことを考えて計画を立てていなければならぬと考えている。
- もう一点、後見人の方は、私も計画策定の担当をしながらケースワーカーをしているところで、やり取りについて重々承知はさせて頂いている。
- 市長申し立てについては必要な際には当然せねばならぬと考えている、必要以上に避けているわけではない。ただ、一方で乱発するものでもないと考えている。
- 今、お話をさせて頂いているのは成年後見制度、後見人、保佐人、補助人など、意思能力が認知症、精神疾患などで低下してしまっている方に後見人等を選任するというところ。
- その申し立てができるのが基本的には4親等以内のご親族、ご本人となっている。なので、基本的にはご家族、ご親族で申し立てができるかどうかの確認からさせて頂いている。
- そのため時間が掛かるというお声を頂くことはあるが、とはいえ確認しつつというのは一つ必要と思っている。
- 時間が掛かるという部分については認識している。

【委員】

- ありがとうございます。
- そうすると、意見としてですが、予防とか身寄りのない人が救急車で運ばれて、救急の先生が「さあどうする」というのがある。
- 人工呼吸器を入れたり、80、90の人、持ち直せないけど、どこにも伝手もないし、家族もないから、やることやるといなのが、救急車で運ばれたような感じになっていて、これはこれで医療の問題が一つある。
- 少しでも元気な時から身寄りのない人の後見人対応、人生最後の対応とか、そういうところが出来ていると、病院のスタッフからすると後見人が付いているから施設行けるように

	<p>なるよと。入院してからやっていたのではとても追いつかない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中々、先ほど申し上げたように自分の家族のことを考えると、元気なうちに色々やるのは難しいのかもしれないが、広報とか周知のところでもう少し工夫ですね。 ○ 70頁のところにも市長申し立て必要な案件が増えてくることが予想されています。引き続き適正な運用。 ○ 重箱の隅で申し訳ありませんが、1件0件というのが適正な運用なのかという、それを引き続きはどうなのかと思う。 ○ 早めに周知して、ケースによっては早めに対応するとか、そういう考え方を盛り込むのが必要なのではないか。
<p>【会 長】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ありがとうございます。 ○ 先ほどのコロナで利用を押さえるしかなかったというのは、どこかに記載をした方がいいのではないか。 ○ 他にご意見はないでしょうか。
<p>【関係者】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今のことに関連してですが、包括支援センターの方でも身寄りのない方の対応が非常に増えている。 ○ できる内からということで、今回エンディングノートを医師会の方でまとめて頂いた。 ○ そういったものをどんどんお配りして、啓発ということでは皆さんに声をかけて行こうということにはなっている。 ○ エンディングノートなどで少しでも先のことを考えて頂き、準備して頂くということで、少しでも効果があればいいと思っている。 ○ まだまだ、早めという方が全然いらっしゃらない。
<p>【委 員】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 5年前、6年前に比べると、ある包括センターでは全然見向きもされなかったのが、結構飛ぶように持っていく人がいると言っていた。 ○ そういう取り組み、コツコツした取り組みがどこかで花が咲くことだと思う。 ○ 先ほど申し上げた医療側の問題等に関しては、10月にケアマネジャー3名ぐらいと勉強会をしながらやっていく。 ○ 入院してから、具合が悪くなってという前に、前の予防段階、気持ちがいまいちかからないところもあるが、コツコツやっていくことが大事だと思う。

<p>【会 長】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今、お話のあったエンディングノートは海老名市医師会と海老名市が共同で作りまして、もう少ししたら大々的に発表する。 ○ 医師会のホームページからもダウンロードできる。 ○ これを基にした講演会等の企画はしている。 ○ 私は元気だけど、これからどうしたいということを皆さん方にそれぞれに考えておいて頂くきっかけにしたいと思っている。 ○ 少しずつ進んでいくと思います。
<p>【委 員】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 5年前、10年前と全然反応はいいかなど、思っているが、目の前にそうではない人が大勢来るものですから、どうしてもそういう見解を言わざるを得ない。申し訳ない。 ○ 増えているけれど、もう少し、皆さんで対応するとまた、今後違う、包括ケアシステムあるいは予防システムが出来上がるのではないかと。 ○ 行政の方とか、本当は国の方で、もう少し、テレビのスポットの広告とかやって頂きたい。 ○ 人生会議とかがやれると、イギリスとかではそういうものがすごい効果があったと文献に書いてある。 ○ もちろん、ここに国の人はいないのですが、本当にすこずつ積み重ねが後で花開くというのを信じてやっていきたいと思っている。
<p>【会 長】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ありがとうございます。 ○ なんでも言って頂きたいと思います。 ○ 何とかご意見をここに盛り込むというこれが大事。
<p>【委 員】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 誰もが住み慣れた地域で、生きがいを持って生活をしていく、地域共生社会の実現のためには、高齢化していく中で地域包括ケアシステムの推進が不可欠だと思う。 ○ プランを見させていただいたが、前回、アンケートで在宅介護をする際に、一番不安なことは要介護3のご家族がいる場合は夜間の排泄、それから医療、具合が悪くなった時に医療、往診になかなか来ていただけないというところが、すごく多かったと思う。 ○ これを見させていただいて、107頁に看護・小規模多機能型居宅介護1か所、それから定期巡回・随時対応型訪問介護看護を1か所、3年間の間で整備しますということですが、3

	<p>年間の中で1か所で果たして、担えるのかというところを少し不安に感じている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 現実として、事業所で24時間対応で訪問介護を担っている事業者は海老名でどれくらいあって、例えば、往診をしてくださる医師はどれくらい、いるのか。 ○ 施設整備ももちろんですが、そういうソフト面も少し働きかけが必要ではないかという風に感じている。
【会 長】	<ul style="list-style-type: none"> ○ どうでしょうか。今のご質問に答えられますか。データはありますか。
【事務局】	<ul style="list-style-type: none"> ○ ケアマネジャーへのアンケート等でそういうニーズがあるということは理解している。 ○ 3年間でこれが担えるのかというご質問ですが、実際のところは、応募があるかどうかは、市で一律のものを作るものではないので、そこは未知数である。 ○ とはいえ、市として目指していきたいと、それと誘致をするために何ができるかというのが私共の課題だと思っている。 ○ 中々、民間の企業、病院というところで、例えば大きな話だと、特別養護老人ホームを載せるつもりではあるが、ではどこに、何床できるかというのは計画では載せられるが市としては明言できないため答えに窮するところ。 ○ ただニーズとしてこれがあると、それを整備するように目指していくというところの方向性は間違いないと思っている。
【会 長】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 在宅診療については私からお答えします。 ○ 海老名市医師会、3年連続ぐらいで海老名市内の在宅診療をやっている診療所医師にアンケート調査をしてデータを取っている。 ○ これをいきなり出してしまうと、そこに集中して大変。なので何らかの形でここに盛り込めるようにデータはお渡しできるようにしたいと思います。
【委 員】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 先ほど、エンディングノートの話があったが、できれば並行して任意後見制度があるということをお話して頂けるといいと思う。 ○ この前の日常生活圏のアンケートの中で、今後の生活で心配なことで自分の健康に関するところが第一であった。

- 介護予防や健康づくりの取り組みとして、どのようなことに興味がありますか？については第一に自宅で手軽にできる運動や健康づくりが一番だった。
- 私は、ともの輪の健康体操に参加しているが、以前、ともの輪で、家でできる簡単なストレッチ体操がB4かB5ぐらいの大きさの写真で、こういったのを自宅でやるといいですよといった物を頂いた。
家で、見えるところに貼っておいて時間があったらやっている。
- そういったものを市民へ配布するのもいいのではないか。配布方法も考えてみた。一年に一回、特定健康診査票が40歳以上の国民健康保険の加入者へ配っていると思う。あれは65歳以上の高齢者の方はほとんど網羅されていると思う。その中に一緒に組み入れて同封すれば高齢者のほとんどの人に行き渡るのでは。そうすれば、暇な時に、それで自宅で運動ができる。そういう風にしたらいいのではと思う。
- 認知症の相談窓口について知っていますか？高齢者の知っている人は26%、要介護認定者29%。私は認知症のサポーターをやっているが、びっくりしました。「えっこんなもんなんだ」と市民の方の認識も。だからもっとやっぱり私たちも頑張らないといけないと。
- みんなのために認知症こんなものだとやっぱり良く知ってもらってということが必要。認知症で困っている人がいれば「包括支援センターいけばいいよ」と教えてあげたり、そういったこともできる。
- 是非、市の方に如何にしてそれを皆さんに広めるか。私も反省しているが、もっとあらゆる所で啓蒙していかなければと反省した。
- アンケート調査の中で、項目によっては男性と女性からの視点。男性と女性ではニーズがある程度違うと思う。あの中ではそういった分析がなかった。そういう分析も必要ではないかと思う。
- それから、ケア会議の資料があったと思う。あの中に、平均寿命と平均自立期間の対比があった。私は平均自立期間という言葉始めて聞いた。いろいろ調べると一般的には健康寿命のこと。フレイルサポーターをやっている健康寿命には非常に力を入れている。健康寿命と同じような意味なんです

平均自立期間は。私としては、ケア会議の資料に載せるものとして平均寿命と健康寿命という形で取り扱って、掲載して頂きたいと思っている。

- 重点項目として位置付ける項目の中に、デジタル化の推進というものをに入れて頂きたい。今海老名市でもデジタル化の推進については結構力を入れていきますよね。

やはり、AIとかそういったものの進展は凄まじい勢いで進んでいくと思う。また高齢化も増々進んでいく。

これからはそういったものも取り入れていかないと、世の中回っていかないのではないかと。今その時期に来ているのではないかと。国がそういったこと考えているのかわからないが、これからそういったものを活用していく、どうすれば活用していけるか。

例えば、オンラインでやったりすることで、包括ケアいいのかな。非常に余裕な時間ができて、それを他の時間に充てられる。あるいは、介護予防の介護の関係の方にロボット、アシストロボット。介護でできる範囲のことを検討していく。そういう時期に来ているのではないか。

【委員】

- 28頁にあるプール利用助成というものがあるが、65歳以上の高齢者に対して高座のプールの半額助成をするもので、利用者も多いと思う。特に車を運転する男性の方かなと思ったり想像したりする。いつでも始められる、一人から始められるというところで、例えば、70歳以上は無料にするといったことも打ち出していいのかなと。

- それから、高座だけでこれをやるというのは地域的に、先ほどの話ではないが、海老名市内には北部にもある、ビナスポもある。例えば委託しているので全額は無理でも100円、150円引くとかわからないが。

- ビナスポは半額ですか？

【事務局】

- ビナスポは半額です。

【委員】

- ごめんなさい。ということなので、ここにも書いて頂けるといいと思いました。

- 70以上、無料というのもありと思う。70でも本当に元気な方が凄くいらっしゃる。プール好きという方もいる。ウォーキングもOKだと思う。そこでは泳いでばかりではないと思う。そういったプランもあっていいと思う。

	○ 元気な人がいつまでも元気でいてほしいと思う。
【委員】	○ それはいいですね。70歳以上は無料にしたらいいですよ。
【会長】	○ ありがとうございます。 ○ 大変力強い意見頂きました。
【委員】	○ 基本理念で気になっているところがある。自助、共助、公助に加えて互助が大事ということで書いている。 ○ 確かに互助が凄く大事だと思って、私もやってる。地域のサロンにそういう意味がある。 ○ 日常のコミュニケーションが地域で取れていないということが最近増々多くなっていると思う。 ○ 住宅地であろうと、マンションにお住まいの方であろうと、どちらも家の中に入ってしまったいて、外にでない。コロナのせいもあるがそれだけではないと思っている。 ○ プライバシーは見せないし、人のプライバシーは見てはいけないものだという個人情報の保護とか、いろいろな情報があるため、助け合いが必要ということは分るが、どう助け合うものなのか、どの人が助けを求めている、私が助けられる人は誰なのか、助けられると思ってる人は何人いるのか、さっぱり分からない。 ○ こういった状況で互助をどうやって成立させていくのかなとすごく不安に思う。 ○ 大事なことなのに、相談をするということも自分の弱みを見せたくない人たちがいて、中々相談の窓口までたどり着かない。 ○ 地域の人と世間話はしても、そこままで、介護予防になるような行事をしても、そこに参加するのは億劫とか。 ○ 確かに高齢者が集うようなゆめクラブとかがあるが、参加は増えないですよ。私もその年齢であるが参加しようとは思っていない。魅力がないというか、参加したいものがないと、個々に自分で何とか解決している人もいると思う。 ○ 課題に向けてなんとしたらいいのかという対策を、この計画を作ったら立てていかなければならないことだと思う。
【会長】	○ ありがとうございます。非常に大事なご意見。 ○ この間、町内会の集まりに行ったら、ある町内会の人、うちの町内会は潰れそうで何とか維持しないといけない。町

	<p>内会に入る人がいないと。人はいるが入る人がいない。人口も少なくなってきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 町内会ですら隣に誰が住んでいるかわからない。交流を持つと思わない。 ○ そこのところがまずは大事かなと非常に思う。 ○ 先ほど認知症の話があったが、是非海老名市にお願いしたいのは、認知症疾患医療センターは海老名にできたということを知らない人がいっぱいいる。是非、広報などでお知らせ頂きたい。困ったときは頼りになる所がありますので。
【事務局】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 先ほどのプールの関係だけ少しお話をさせていただきます。 ○ こちらにあるのが高座のプールのみの記載となっている。 ○ 先ほどのビナスポや運動公園についても「元気65」という施策で高齢者については半額という形の金額、料金となっている。 ○ そちらが条例で決まっているもので、それを補填するために地域包括ケア推進課が高齢者の方の高座の半額を実施しているという形になる。
【会長】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 参考に記載してもらった方が、いいと思う。わかりやすい。
【事務局】	<ul style="list-style-type: none"> ○ そうですね。
【委員】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 民生委員の立場から。先ほどから、家の中に閉じこもって外に出て行かないという話が出ていた。 ○ 私が今担当している地域が、人口1000人ぐらいで家が500件。65%以上が65歳。75歳以上の人も40%ぐらいでかなり多い。 ○ 築50年のマンションで5階建て、エレベーターがないという環境。 ○ 私も7月、8月に一人暮らしの80、90の方とお話すると、買物や病院には恵まれている所。かなり自分のところで頑張ってきている。皆さんの希望を聞くとなるべく施設に入らないで、自分の所で最後までと。 ○ 確かにそうやって、エレベーターのない5階建てのマンションで自然発生的に自治会で活躍した方や老人会で活躍した役員の方が皆さんすごく意識が高く、特に自治会がしっかりしているところ。なので先ほどの互助、ボランティアがとても充実している。

- ボランティアでも月1回の定例会の中で認知症の方々の支えをどうしていくか「ユマニチュード」の考え方を。そういう方にどういう風に日常的に対応するかというのを学習会でみんなでお勉強しようと計画を立てている。
- 先ほどのIT化の話もあったが、スマホの使い方を知りたい。ガラケーをやめてスマホにして。スマホが凄いなと思ったのはLINEとかで繋がっていくと、どんどんスマホのLINE仲間ができる。そうすると面白くなって写真撮ってみたりする。一人暮らしの方も用事がなくてもいろいろできたりする。
- そういったことがコミュニケーションを豊かにしたり、もっと色々な人と繋がれたり。早速今度の土曜日にもスマホ教室を予定してたが、講師がコロナに罹って少し延期になっているが、また継続的にやる。
- こういう、小さなほんの一步だが、一人一人が変わっていくといい。
- 包括支援センターに民生委員は何か困ると小さなことでも相談して助けて頂いている。
お陰様でかなり進んでいた、認知症の方が近くの施設にデイサービスに行くようになってから表情が凄く良くなった。そういう話を私のところに住民の方々が教えてくれる。本当に頼りにしている。いつも包括さんに助けて頂いている。

【会 長】

- ありがとうございます。
- 団地に関しては、さつき町団地というところが、医師会と海老名市で協力して色々と互助、あの人は助けが必要だとかどうだとか、そういうのを作りあげて、いいシステムが動いている。団地はそれでいいが、一般の街中に展開するのはすごく難しい。

(3) スケジュールについて

【事務局】

《事務局から資料3号にそって説明》

(4) その他

【委 員】

《委員、関係者、事務局、特になし》

【関係者】

【事務局】

4 閉会

【事務局】

《事務局の進行により閉会》